

第5章 松戸市都市農業振興計画の推進

1. 松戸市都市農業振興計画の推進体制

農業者・市民・とうかつ中央農業協同組合・松戸市等がお互いの役割を果たしながら連携して、本計画を推進し都市農業の振興を図ります。

都市農業振興基本法、同基本計画がつくられ、都市農業は農業生産活動を基盤として、農業生産物の供給やその他の多様な機能が十分に発揮するように保全・振興されることが都市や都市住民にとって重要であることが明確にされました。松戸市は、この新たな位置づけを実現していくために必要な体制で取り組みます。

【各主体の役割】

主体	役割
農業者	<ul style="list-style-type: none"> ○環境にやさしい農業を推進し、安全・安心な農産物の供給 ○農産物の PR や食育の推進 ○市民が農とふれあう場の提供 ○市民の営農への理解促進
市民	<ul style="list-style-type: none"> ○松戸産農産物の購入、直売所や観光農園の利用 ○農業イベント、農作業体験へ積極的な参加による農業への理解 ○松戸産農産物の使用による食育の推進 ○農業の理解を深め、農地保全への取組みの支援
関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ○営農技術指導や農業経営改善の取組みの支援 ○担い手等農業人材の育成 ○松戸産農産物の積極的な利用による地産地消の推進
市	<ul style="list-style-type: none"> ○計画の推進と進捗管理 ○農業後継者の確保と育成 ○松戸産農産物の PR 活動 ○地産地消とブランド化の推進 ○都市農業に対する市民への理解の醸成

【施策と主な取組内容の推進主体】

基本方針	施策と主な取組内容	推進主体			
		農業者	市民	関係団体	市
農業者の確保と育成	(1) 担い手の育成				
	①地域の意欲的農業者をサポートする体制の整備	○		○	○
	②農業後継者の配偶者・新規就農者の創出	○		○	○
	③経営改善支援			○	○
	④法人化の支援				○
	(2) 農業の充実				
	①野菜・果樹産地育成強化			○	○
	②施設園芸産地育成強化			○	○
	③鳥獣被害防止対策			○	○
都市農地の保全	(1) 農地の利用促進				
	①農地の流動化、集積の促進			○	○
	②農地パトロール事業			○	○
	③農業関連法律及び税制等制度の情報提供			○	○
	(2) 生産緑地制度の活用				
	①生産緑地地区の指定			○	○
	②特定生産緑地の指定			○	○
	③都市農地の貸借円滑化			○	○
	(3) 環境にやさしい農業の推進				
①総合防除の推進	○		○	○	
②土づくりの推進	○		○	○	
③農業生産環境整備の推進	○			○	
都市農業としての販売力の強化	(1) 地産地消の推進				
	①食育の推進	○	○	○	○
	②学校との連携	○		○	○
	③松戸産農産物のPR	○		○	○
	(2) 農産物のブランド化				
	①安全・安心な農産物の生産	○		○	○
②農業イベントの実施	○		○	○	
③販路の多角化	○		○	○	
多様な機能の推進	(1) 都市住民の農業への理解の醸成				
	①近隣住民との交流	○	○	○	○
	②都市農業・農地の大切さの啓発			○	○
	③市民との連携	○	○	○	○
	(2) 都市農地の多様な機能の発揮				
	①市民農園の利用	○	○	○	○
②福祉事業との連携【新規】	○		○	○	
③災害時の防災機能【新規】	○			○	

2. 松戸市都市農業振興計画の検証

(1) 検証体制

本計画の進行状況を管理するために、農業振興分野のみならず、都市計画、環境、福祉、教育、防災など各分野の個別計画、実施事業と相互に連携することが必要であることから、庁内関係部署において、本計画の進行状況を報告するとともに、達成状況を評価・検証し、5年後に計画の見直しを行います。

(2) 検証項目

本計画を着実に推進していくために、数値目標を設定しました。これらの数値目標を達成しながら、計画全体を推進していきます。

【数値目標】

数値目標設定項目	現状	2023年度 (中間年)目標値
基本方針(1) 農業者の確保と育成		
畑婚の参加者延べ数	144人 (2017年度)	700人 (2019~2023年度)
認定農業者の認定者数(経営体)	165経営体 (2018年度末時点)	170経営体 (2023年度末時点)
基本方針(2) 都市農地の保全		
利用権設定面積	19.8ha (2017年度末時点)	31.8ha (2023年度末時点)
遊休農地面積の削減	4.8ha (2017年度)	1.8ha (2023年度末時点)
基本方針(3) 都市農業としての販売力の強化		
松戸ブランド農産物取扱い店舗数	17店舗 (2017年度)	30店舗 (2023年度)
松戸ブランド農産物の市内学校でのPR実施数	0校 (2017年度)	15校 (2023年度)
基本方針(4) 都市農業の多様な機能の推進		
オーナー農園・体験農園の実施区画数	864区画 (2017年度)	900区画 (2023年度)